

河川（BOD）

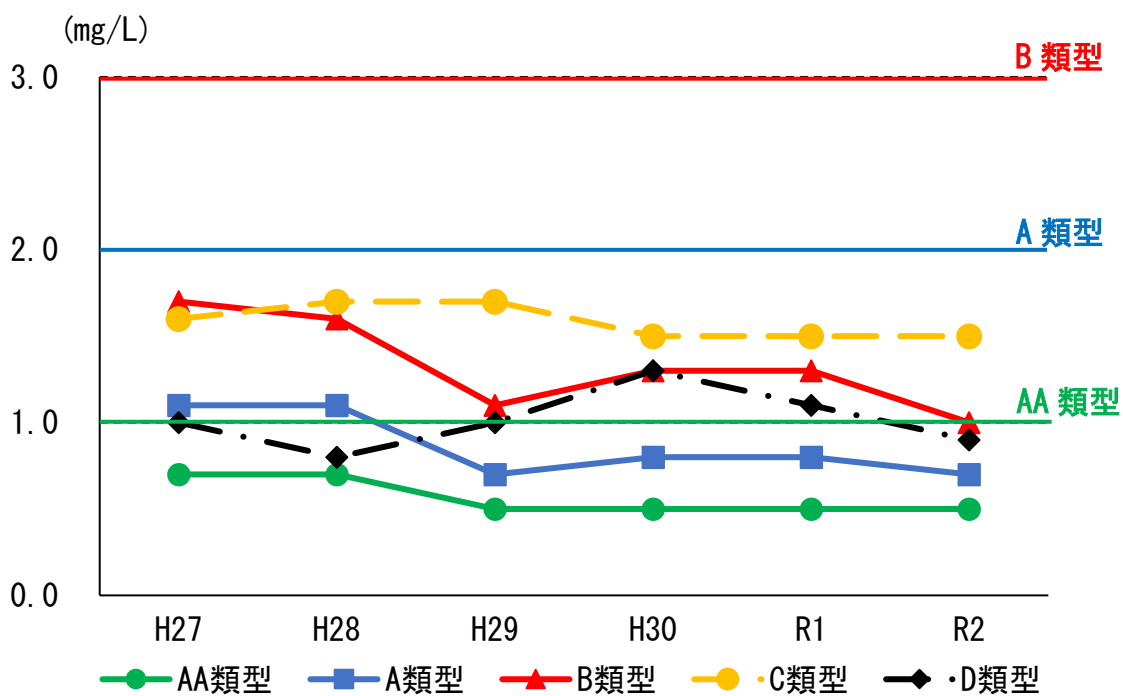


図 2 - 1 公共用水域（河川）の水質の推移

※ プロットは類型ごとの全環境基準点の 75%水質値の平均値

※ C 類型の環境基準値は 5.0 mg/L 以下、D 類型の環境基準値は 8.0 mg/L 以下

湖沼（COD）

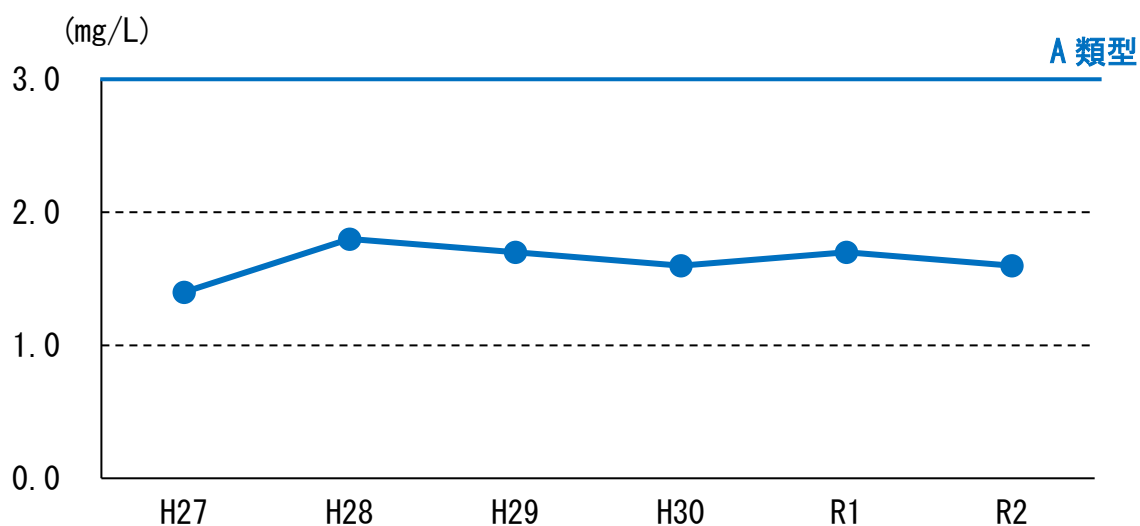


図 2 - 2 公共用水域（湖沼）の水質の推移

※ プロットは類型ごとの全環境基準点の 75%水質値の平均値

※ 測定している湖沼（3湖沼）：A 類型

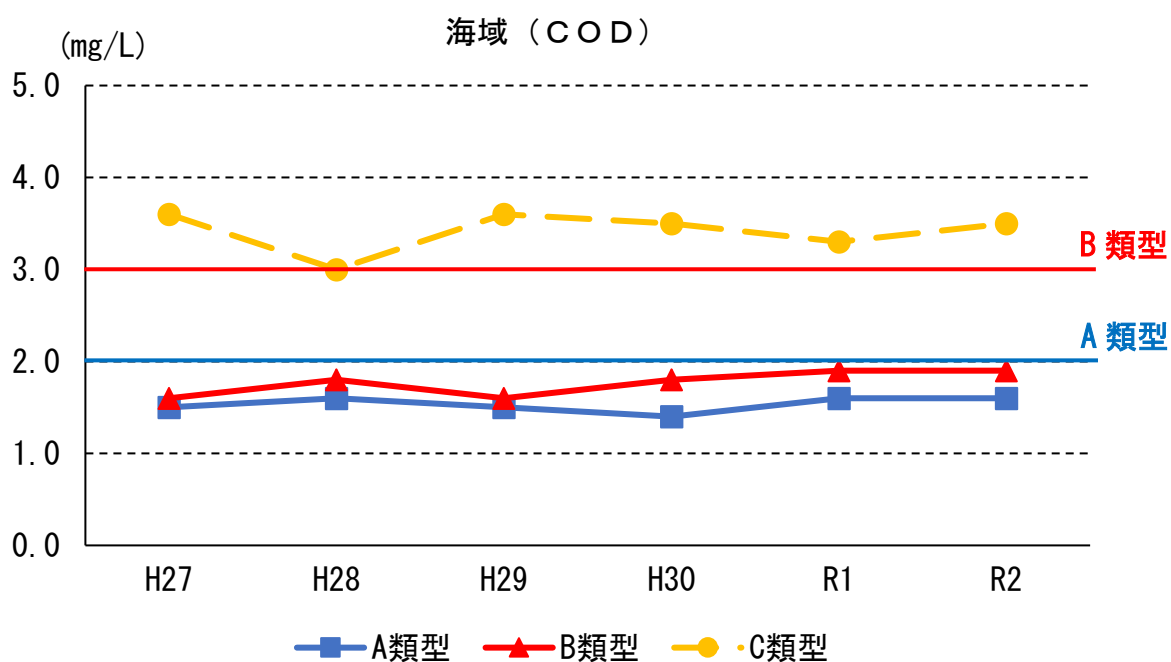


図 2-3 公共用水域（海域）の水質の推移

※ プロットは類型ごとの全環境基準点の 75%水質値の平均値

※ C 類型の環境基準値は 8.0 mg/L 以下

(2) 地下水の水質

地下水質については、県内平野部における概況調査では、全ての地点で環境基準を達成している。また、過去に人為的原因による汚染が判明した継続監視地点では、浄化対策等により地下水質が改善しており、その地域の地下水汚染状況は、以下のとおりである。

表 2-2 地下水の汚染の状況（令和 2 年度の継続監視調査結果）

調査項目	調査地域	調査地点数	調査結果 (mg/L)	環境基準超過地点数	環境基準 (mg/L)
トリクロロエチレン	小矢部市埴生	3	<0.001 ~0.035	1	0.01
テトラクロロエチレン		3	<0.0005 ~0.038	1	0.01
テトラクロロエチレン	南砺市本町	3	<0.0005 ~0.0089	0	0.01
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	氷見市諏訪野	3	1.3~7.5	0	10

3 水質汚濁事故の発生状況

近年の水質汚濁事故発生件数は年間 40 件程度であり、その多くは灯油など油の流出によるものである。事故の主な原因は、設備の誤操作や油の小分け中の不注意等の作業ミス、施設の破損である。

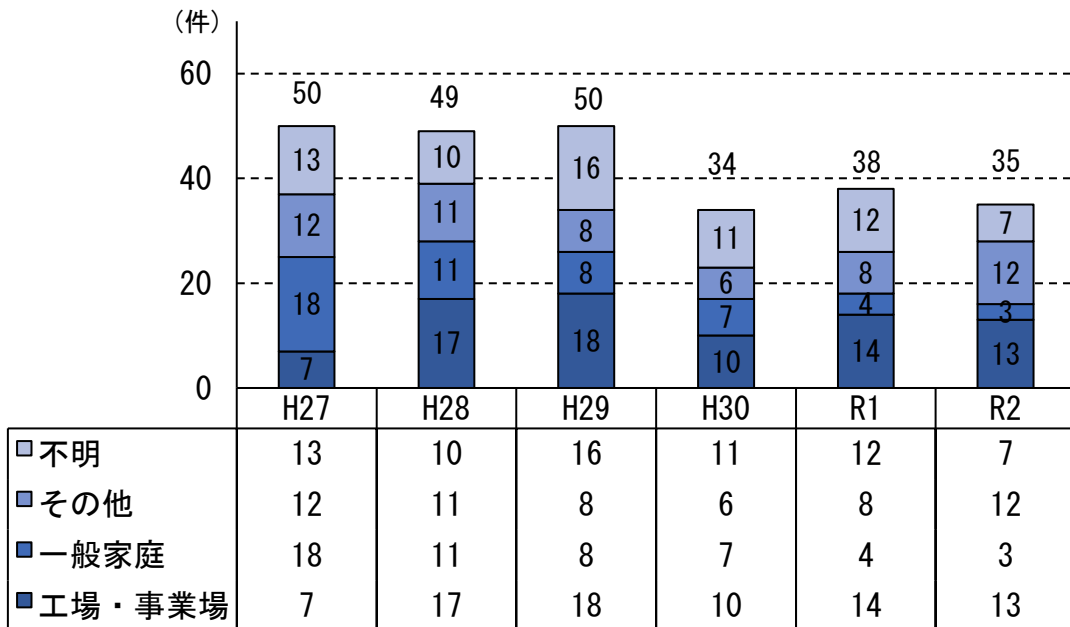


図 2 - 4 水質汚濁事故の発生状況

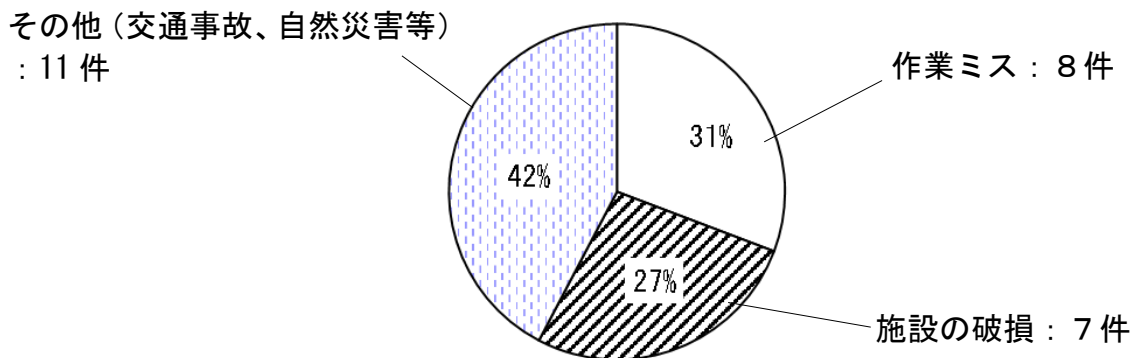


図 2 - 5 水質汚濁事故の原因 (令和 2 年度、不明を除く。)

4 水環境保全活動の実施状況

県内各地では、地域住民及びその団体により、地域の河川や「とやまの名水」などの清掃、身近な水辺での生き物の調査等、多岐にわたる水環境保全活動が実施されている。近年は毎年2,000人前後が活動しており、累計の活動人数は着実に増加している。

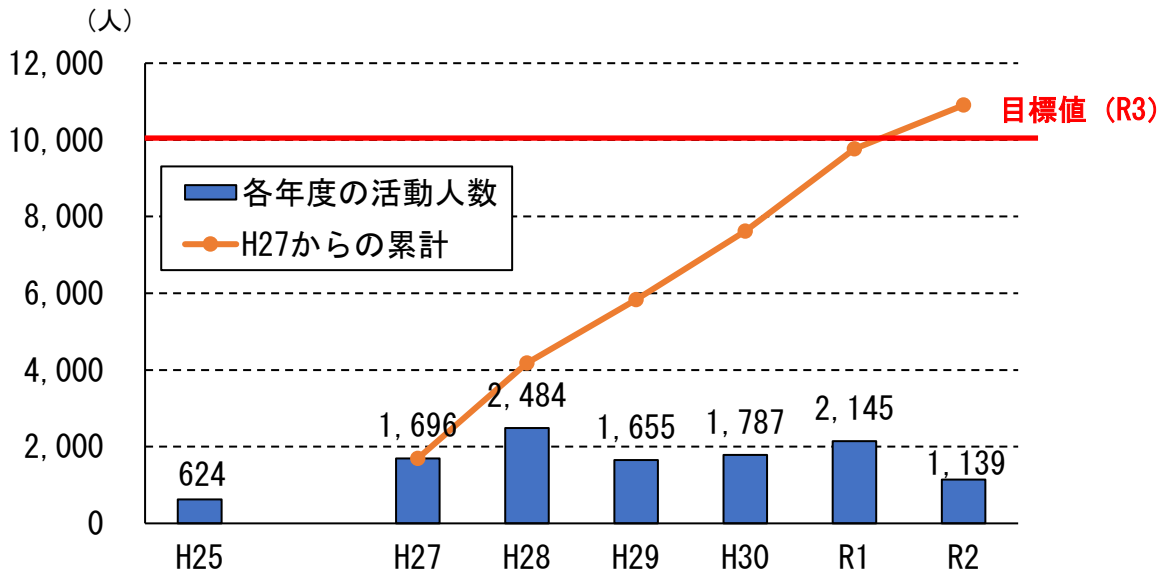


図2-6 水環境保全活動参加者数の推移